

梅窓院通信

No.41 2009/03/01 春彼岸号

青山

AOYAMA

最勝宝塔と梅の花(平成20年早春)

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成



新年も、はや三月となりますが、皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、今年のお正月は晴天に恵まれた穏やかな三が日となりました。元日と二日にはお寺でお雑煮を用意し、初詣の皆さんに振る舞わせていただきました。半斉供養したおもちの入った六百食がほぼ完食、初めての試みながら大好評でした。

来年は新年最初の法要、修正会を勤修する元日だけの振る舞いとさせていただきます、お雑煮も精進にする予定です。どうぞ来年のお正月は梅窓院の御本尊に初詣していただき、お雑煮をお召し上がり下さい。

以前にお知らせ致しました墓地奥の桜の木の周りの整備は順調に進み、三月のお彼岸前に完成致します。ベンチのある憩いの場が一つ増えることとなります。どうぞお墓参りの際に御利用下さい。

春のお彼岸も間近となりましたが、今年の春彼岸イベントは従来のライブではなく、螺鈿・蒔絵、輪島漆器の展示会と郡上物産展を同時開催致します。

「香炉箱展」は螺鈿・蒔絵作家の万福哲泉先生による特別展、「太王漆器展」は梅窓院の引き出物、そして祖師堂の仏具をお願いしている石川県輪島の太王漆器商會、「郡上物産展」は、梅窓院の開基、青山家が治めていた岐阜県郡上の観光協会にご協力いただいています。

輪島塗りの展示即売もありますし、郡上おどりでもおなじみの美味しい特産品が並びます。この新イベント、お彼岸でのご先祖さまのお墓参りの前後にお楽しみ下さい。

仏教歳時風物詩 (5)

彼岸桜一景

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦 上人

一 十四節気の仲春の啓蟄の節から
春分の中気にかけては、大地も

ようやく暖まり、地中に深く潜んでい
た虫たちもおのずから這い出しはじ
め、春うららかな、のどけき季節をや
がて迎えようという折柄である。彼岸
前の時候の移り具合、気候の微妙な変
化・変様のありさまが、彼岸入りから
彼岸中日に至り、太陽が春分点に達す
る大きな季節の区切り目となる。

春のお彼岸を迎える頃の時節柄、時
分柄というものは、いずれにしても明
るい季節の到来を喜び合うはなやぎが
ある。それは寒くきびしかった冬への
別れが、少しずつ薄着になって行く衣
服の軽やかさなどにも反映して、たと
えば桜の花の便りを待ち望むうきうき
とした陽気な心模様を呼び起こすので
ある。

さて、桜花といえは、早咲きの桜と
して彼岸時分に咲くといわれるのが彼
岸桜である。『滑稽雑談』には、「本名小
桜、春分のころ開くゆゑ、俗に彼岸桜
といふ」と記されているが、高さ五メー
トルほどの小ぶりの桜木で、花も小さ
く、一重咲きの淡紅色で、彼岸桜はまこ
とにはかなげな花でもある。

御仏に手向はひがんぎくらかな (徳元)

徳元は本名齋藤龍幸(二五五九—一六
四七)。美濃国墨俣城主で、関ヶ原の合

戦では石田三成方に属して敗れ、後に
若狭国に住んで京極忠高に仕えた、い
わゆる戦国大名である。連歌では里村
昌琢に師事し、俳諧では松永貞徳に交
わり、別格扱いながら、後に貞徳門の五
俳哲の一人として数えられている。美濃
の名門齋藤家に生まれて、戦国乱世を
生き抜いた徳元入道の彼岸句である。

ありそめて彼岸桜は昏れにけり (曹人)

尼寺や彼岸桜は散りやすき (漱石)

早咲きであるから、はじめて目に入
る彼岸桜のピンクのはなやかさは鮮烈
である。古館曹人は、初五を「ありそめ
て」(有り初めて)と置いて、彼岸の夕
景を写し取った。夏目漱石は「散りや
すき」という座五によって、そつとはか
なさを噛みしめた。

ところで、本来の彼岸桜とは別種で
花期も少し遅れるが、江戸彼岸とい
う大木様の桜木がある。高さが二十メー
トルを超えるものもある。東彼岸・立
彼岸・姥彼岸などともいい、江戸・東京
の人々には親しまれてきたものであ
る。この江戸彼岸から生まれた変種
が、有名な枝垂桜・糸桜である。しだ
り桜・紅枝垂ともいい、さらに枝垂彼

岸と称される。大ぶりの樹頭、つまり
太い幹の天辺から四方八方に細い枝が
糸のようにしだれて、觀賞用にはまこ
とにふさわしい、あでやかな美しい花
である。

夢殿のしだれ桜は咲きにけり (青々)

くれないを天へつなげり糸桜 (正江)

松瀬青々は、法隆寺夢殿と枝垂桜の
優美さに手を合わせている。その美し
くあざやかな花の糸が天空高くつな
がって見えるという。井沢正江は春空
の青さや白い雲に映えて、糸桜の真紅
に我が心を染めたのであろうか。

これらの桜の花期は、地域地方に
よってそれぞれ差異はあるが、三月中・
下旬から四月にかけて咲き揃う。とく
に「彼岸」の二文字が付けられている
ように、春のお彼岸のうらかな時節
時候を象徴している花である。とりわ
け、桜前線の北上に先駆けする彼岸桜
には、桜花満開の爛漫たる本格的な春
陽を待ちわびる人々の願いが映されて
いる。

桜の異称の一つに「夢見草」がある。
春眠に桜花のはなやぎを夢見るのもよ
からう。その前に、今は彼岸桜に導か
れて、彼岸供養の心をおだやかにすす
め合いたい。
(大正大学教授)

一月の行事報告

お正月、元日と二日にお雑煮を振
舞いました。

来年も元日にお雑煮を振舞えるよ
う企画しておりますので、皆様楽し
みにしていただくさい。

お雑煮



おせち



観音堂でのお食事風景

お詫び

委託会社の配送システムの関係で、本
年の『青山』新年号の到着が例年より遅
くなり、元日・二日のご案内ができません
でしたことを深くお詫び申し上げます。

信州善光寺

一光三尊阿弥陀如来 七年に一度の御開帳



平成15年度団体参拝での集合写真。善光寺の御開帳を参拝しました。



お数珠頂戴の様子。法要の導師を務める善光寺住職（男性のお貫主さま、女性のお上人さま）が本堂を往復する際、参道にひざまづく信徒の頭を数珠で撫でて功德をお授けになる「お数珠頂戴」の儀式。

昨年の北京オリンピック聖火リレーで、日本での出発地に選ばれた話題を呼んだ信州長野の善光寺。その善光寺で七年に一度の行事がこの四月から約二カ月にわたり開かれます。ご存じ、本尊さまの御開帳です。

開帳されるのは、インド・中国・韓国の三国を通って日本にたどり着いた阿弥陀様で、両脇の観音勢至両菩薩様が一つの大きな光背におさまる、一光三尊阿弥陀如来と呼ばれる特別な仏さま。この仏さまはその昔、灘波の堀江で対面した本田善光に担がれ、信州長野の地へやってこられました。以来、このありがたい仏さまと縁を結べば極楽へ行ける、と全国各地から善男善女がお詣りに来ています。

梅窓院でも御開帳の度に団体参拝を組み、縁を結び続けています。平成二十一年も御開帳ツアーを組みますので、ご参加下さい。



回向柱に触れ、仏さまのご縁を結びます。

御開帳ツアー

梅窓院団体参拝のお知らせ

5月10日(日)~5月11日(月)

平成21年4月5日から5月31日まで長野善光寺の本尊が御開帳されます。梅窓院では御開帳に合わせた団体参拝を組みます。この機会に三国伝来の仏さまのご縁をお結び下さい。

春彼岸法要

三月二十日(金)

彼岸寄席

午後1時～ 2階本堂

入船亭扇好 師匠 ほか

春彼岸会法要

午後2時～ 2階本堂

※お呈茶を観音堂エントランスにて午後2時まで致しております。

入船亭扇好 師匠

プロフィール

昭和38年長野県生まれ。昭和60年入船亭扇橋に入門。平成10年真打昇進。

古典落語を中心に活動。永六輔氏主催の「永住亭」レギュラーメンバーでもある。趣味はスキー、日本舞踊、小唄から古道具集めまで幅広い。



入船亭 扇好 師匠

さんゆうてい たまたまじょう

三遊亭 玉々丈 さん

プロフィール

昭和47年5月17日東京都生まれ。立正大学文学部卒業。平成18年11月下席前座となる。平成18年三遊亭円丈へ入門。



三遊亭 玉々丈 さん

塔婆申込み方法

同封のはがきを使い3月10日必着でお申込み下さい。塔婆回向料は1本7,000円とさせていただきます。

お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。(銀行でのお振込みは出来ません)

お檀家様へお願い

3月17日～23日まで、境内駐車スペースは、お体のご不自由な方、車椅子をお使いの方の車を優先とさせていただきます。ご協力をお願いします。

春彼岸特別展

今年の春彼岸ではライブに変わり梅窓院有縁の方たちの特別展を開きます。

螺細・蒔絵で蘇える源氏物語の世界、現在制作中の祖師堂の新仏具と同じ輪島塗の数々、そしておなじみ郡上の美味しい特産品が並びます。

ぜひ、ご先祖さまのお参りに合わせ、お楽しみ下さい。

万福哲泉・香炉箱展 「源氏物語千一年紀」

3月19日▶23日



薄墨桜 香炉箱



思わず見惚れる螺細細工



だいおう

太王漆器展 日常使いの輪島塗り

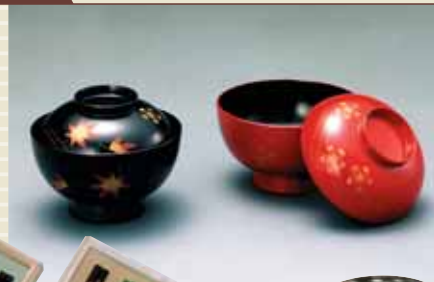
3月19日▶23日



工房での上塗り作業



梅窓院祖師堂の仏具もここ太王で現在作られています。



郡上物産展 豊かな自然からの贈り物

3月20日▶21日



郡上おどりでの販売風景



明宝トマケチャップ



明方ハム



肉桂玉



とちの実せんべい

日本の伝統の礼儀作法といえば小笠原流の礼法。梅窓院でも毎月教室が開かれている。今回の囲む人々は、室町時代から続く中で初めての女性宗家となったさんにお話をお伺いした。

◆こんにちは。

礼法の先生を訪れるということで、何から何まで緊張していますが、本日はよろしくお願ひ致します。

さん(以下)

こちらこそよろしくお願ひ致します。楽になさって下さい。

◆ありがとうございます。

早速ですが、礼法という何か堅苦しい作法といったイメージが浮かんできってしまうのですが……。

はい、そのようなイメージをお持ちの方も多いのではないかと思ひます。もともとは武士の弓、馬から始まったものですが、礼法の基本は「相手を大切に思ふところ」です。

ですから、礼法は臨機応変で、時と場所そして状況に応じて変化するものであり、お辞儀の仕方ひとつでも状況に応じて異なります。こころの行き違いや交流の妨げにならない為の作法であることが大切です。

◆なるほど、相手あつての礼法ということですね。ファーストフードなどの接客マニュアルも同じなのではないですか？

はい、接客マニュアルもお客様に失礼や危険がないようにという最低限の“ルール”なわけですから、その点では変わらないかと思ひます。

◆ですが、あの挨拶がよそよそしく感じる時もある、なじめないのですが……。

それは恐らく誰に対しても同様の振る舞いや言葉で接しているからでしょう。私どもの教室でも、習い始めの生徒は、どうしてもよそよそしい感じになってしまうことはあります。最初は誰にでもあることです。

しかしながら、作法に慣れ親しむと同時に礼法のこころが身につくようになると、違和感がなくなります。動きや言葉の一つ一つが自然かつ美しく、ただマニュアル通りといった無味乾燥なものではなくなるからです。

このように人の態度や表情、そして言葉には心のあり様が出ます。ですから、形を覚えることも大切ではありますが、その形が心から表われるものになることが大事なのです。さらに、その人なりの個性を加えられるようになれば、礼法がしっかり身についたということなのです。

◆なるほど、奥が深いものなのですね。いまそうしたことを教えてもらえる教室はあるのですか？

本部直営の教室は青山と新宿にあり、その他に各師範が個人で教室を開講しています。梅窓院を拝借して行っている小笠原流礼法教室もその一つです。

このような教室は先代の頃から、一子相伝の封印をとき、行うようになりました。

◆そうですね、武士の作法から始まった礼法を知ることができるようになったのは最近のことなのですね。

難しい質問かもしれませんが、今風の礼法といったようなものはあるのでしょうか？

そうですね、たとえば今はパソコンや携帯のEメールで連絡をとりあう方が多いですが、そのメールに手紙の作法を活かすというのはいいのではないかと思ひます。

用件のみを数行で伝えていることもあるようですが、そこに「いかがお



過ごしですか」あるいは、「お世話になっております」など、挨拶やお礼などのフレーズを入れるだけでも心を伝えやすいのではないのでしょうか。

また、たとえ美しい字を書くことに自信がなくても、丁寧に書かれた手紙は受け取る側に送った側のこころを伝えるものです。

◆そうですね、今は葉書や手紙といえば印刷されたダイレクトメールばかりで、相手の顔が浮かぶ手紙はすくないです。

手で書くゆとりや時間がない、つまり余裕がない時代になってしまったのでしょうか……。余裕がないというのは、こころにゆとりが持てないということです。

たとえば相手の幸せを願ひ喜ぶこころの余裕があると、相手に不快な思いをさせないという礼法の基本に立ち戻れます。私たちの先祖が育ててきた、日頃の生活における感謝や祈りのこころを忘れてはいけなないのではないかと思ひます。

箸の使い方も礼法の心得の一つですが、なぜ箸の正しい使い方が大切なのか、それは神と人間を結びつけるものが箸であり、ゆえに美しく食べることが感謝の気持ちを表すことにつながるからです。

礼法という形にとらわれがちですが、こうした感謝や幸せを願う気持ち、つまりこころを形を通じて表すことこそ礼法なのです。

◆なるほど、形ばかりに目がいきがちですが、見た目の中にあるものが大切なのですね。とてもいいお話をいただき、ありがとうございました。



小笠原流礼法 本部直営教室

小笠原流礼法宗家本部

〒107-0062

東京都港区南青山一丁目3-1-2909

TEL 03-5786-7277

FAX 03-5786-7278

<http://www.ogasawararyu-reihou.com/>



トルコ料理「ハレム」

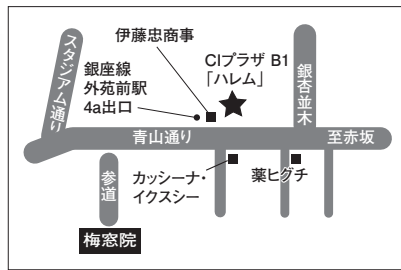
店内は華やかで神秘的なトルコ製の家具が心地よく配置されている。食器も含め、調度品のほとんどがオリジナルデザイン。

ランチは豊富な7種類。そのうち2つはしっかりとしたコースメニューだ。

豆やトマト等の野菜をふんだんに使った煮込み料理や、熱々の自家製のゴマパンに特製のペースト(全部で9種類)を付けて食べると思わず顔がほころぶ。ラム

肉も癖が少なく、美味しく頂ける。特に日本人の舌に合わせようとはしていないと語るオーナーの恵さん。さすが世界三大料理のひとつ。

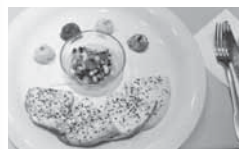
木・金・土・日曜日の夜限定でトルコ料理の醍醐味・トネルケバブが用意され、火・木曜の夜にはベリーダンスのショーが行われる。まだまだ馴染みの浅いトルコ料理。試してみる価値は大いにありそう。



営業時間/ランチ11:30~14:30 (LO14:00)
 ※木曜日無し/ディナー17:30~23:00 (LO22:00)
 日・祝日 17:30~22:00 (LO 21:00)
 定休日/月曜日 席数/50席(立食80名)
 住所/東京都港区北青山2-3-1 C1プラザB1
 TEL/03-5786-2929 FAX/03-5786-2930
 HP/http://www.harem.co.jp/



◀ランチは5種類のセットメニュー(1,200円~)と2種類のコースから選べます。お昼は午後1時以降がお勧め。



▲ヘルシー野菜セットのメイン。スープとサラダ、チャイ、デザートが付きま。



▲ソファの目玉のようなインテリアは、トルコでは魔よけとして用いられているそう。

青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎 紀夫

◎特選

○ 老いの身の日課と信じ初日記

◎入選

- 住みにくき日もある鳥や漱石忌
- 病める日を目つむるばかり隙間風
- お雑煮の振舞ひ受けて詣でけり
- またひとつ齢重ねて屠蘇を酌む
- 玉砂利の音ざくざくと時雨中
- 泣く嬰を抱きながら撞く除夜の鐘
- 冬晴れや物干し竿をなほ高く
- 幼子の吐く白息のたどたどし

◎選者詠

○ 繫がれし猪牙ちよきに日差しや寒椿

大崎 紀夫

〈フンポイントアドバイス〉

季語の中には、「亀鳴く」「鴈鳩と化す」「雀蛤となる」など現実にはあり得ない面白いものがあります。こうした季語を使う場合、先例をよく読み、多くの人がどのような発想で作ったかを学んでから、それでは自分はどう詠むかと考えたいと思います。面白い大ウソをつくこと、晴れやかな気分になるものです。

投句募集

今回は「春の季語」でご自由にお詠み下さい。4月6日を締切り、6月発送の『施餓鬼号』にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。
 〒107-0062 港区南青山2-26-38
 梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。
 ウエップ編集室
 電話03-5368-1870

のらぼう菜

食は命

武鈴子 食養研究家

第三十四回

江戸の伝統野菜に『のらぼう菜』という、なんともユーモラスな名前の野菜を見つけました。アブラナ科の葉物野菜で、地域によっては「かき菜」「とう菜」などとも呼ばれています。

川崎市菅地区では800年前から栽培されており、冬場の貴重な食料として重宝されたそうです。現在では農産物ブランド「かわさきそだち」、神奈川県「かながわブランド」に登録されています。東京あきるの市小中野にある子生(こやす)神社の境内には「野良坊菜の碑」があります。関東郡代・伊那備前守は当時江戸近郊(現、埼玉県飯能市、東京都青梅市を中心とした東京西郊の山麓地帯)の幕府の直轄地の村々に「闇婆菜(ジャバナ)の種」を配布し栽培を奨励しました。この闇婆菜は荒地でも育ち、手もかからないことから「野良生え」と呼ばれ、のちに「のらぼう菜」となりました。江戸時代の有名な天明・天保の大飢饉には多くの人の命を救ったといひます。のらぼう菜は、血液の滞りをなくして血行不良を改善する働きがあります。旬は2月中頃から4月。やせ地でも一株で3~4回は収穫でき、甘みがあって、くせのない味は、野菜の少ない春先に、おひたし・酢味噌和え・からし和え。また花部分を天ぷら、茎はゆでて和え物に、葉はざっと炒めていただきます。



最勝宝塔に花立と線香立を設置しました。どうぞ皆様ご利用下さい。

梅窓院
だより



梅窓院墓苑桜の木
周辺工事経過報告

梅窓院より法要時間
変更のお知らせ

4月から、事情により午後1時からの法要は、30分繰り下げて1時半からとなります。何卒、ご了承下さいませ。尚、不明な点がございましたら、当院受付までお問い合わせ下さい。

行事予定

春彼岸会法要

3月20日(金) 寄席 午後1時～ 本堂
法要 午後2時～ 本堂

※詳細は4面をご覧ください。

増上寺 御忌大会(ぎよきだいえ)

4月2日(木)～7日(火)

増上寺において御忌法要(浄土宗の宗祖法然上人の忌日法要)が盛大に執り行われます。3日は御忌詠唱奉納大会が開かれ、梅窓院詠唱会の皆様が参加致します。

皆様も是非参詣され、法然上人をしのび、ご恩徳に感謝いたしましょう。



はなまつり

4月4日(土)～8日(水)
寺院棟2階 本堂

お釈迦様の誕生をお祝いする「はなまつり」。寺院棟2階本堂エントランスに花御堂を、休憩所には甘茶をご用意しております。皆様どうぞご参拝下さい。



団体参拝旅行

長野 善光寺ご開帳の旅
5月10日(日)～11日(月)

※詳しくは3面と別紙チラシをご覧ください。

第47回 念仏と法話の会

6月19日(金)
受付開始 午後12時～ 観音堂
※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

郡上おどり in 青山

6月27日(土)～28日(日)
※日程が変わりましたのでご注意下さい。
なお詳細は次号でお知らせ致します。

平成21年度 前期 仏教講座のご案内

梅窓院では4月より平成21年度 前期 仏教講座を開講します。本年度より、新たに林田康順先生をお迎えして5名の講師でお送り致します。どうぞお気軽にご参加ください。

※今期から会場が地下2階祖師堂に変更になります。
※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

全講座▶午後6時～8時 受講料▶無料 場所▶祖師堂(B2F)

講師/林田 康順 先生(大正大学准教授、大本山増上寺布教師、慶岸寺副住職)
講題/法然上人のみ教え 一入門編一
第1回…4月13日(月) 日本人の宗教心 おかげさまの心一
第2回…6月15日(月) お浄土① 一俱会一処一
第3回…9月28日(月) お浄土② 一指方立相一



講師/勝崎 裕彦 先生(香蓮寺住職 大正大学教授)
講題/仏・菩薩 一その教えと信仰
第1回…6月25日(木) 十大弟子の教え
第2回…7月23日(木) 羅漢さまとその信仰
第3回…8月20日(木) 高僧に倣いて



講師/新井 俊定 先生(天然寺住職 大正大学出版会主管)
講題/一遍上人の教え
第1回…5月22日(金) 一遍上人の生涯(出家、修行)
第2回…8月 4日(火) 一遍上人の生涯(遊行、賦算)
第3回…9月18日(金) 一遍上人の教え(念仏、踊り念仏)



講師/阿川 正貫 先生(浄土寺住職 大正大学講師)
講題/中国宗教状況の一例
第1回…4月28日(火) 福建省の仏寺・道観
第2回…5月26日(火) 江蘇省・茅山の女性道士たち
第3回…8月10日(月) 遼寧省(旧満州)農村の春節



講師/本林 靖久 先生(真宗大谷派僧侶 大谷大学・佛教大学講師)
講題/生と死の民俗 一産育儀礼をめぐる一
第1回…5月15日(金) 妊娠儀礼
第2回…7月17日(金) 誕生儀礼
第3回…9月 4日(金) 成人儀礼



発行/梅窓院
発行日/平成21年3月1日
発行人/中島 真成
編集/青山文化村
住所/〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
電話/03-3404-8447
FAX/03-3404-8107
ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/
E-Mail/jodo@baisouin.or.jp
題字/中村康隆前浄土門主 総本山知恩院第八十六世門跡

編集後記
「梅窓院を囲む人々」で小笠原流礼法宗家の様を取材させて頂き、とても身にしみるお話を拝聴する事が出来ました。
便利な現代、忙しい中で忘れがちな、人を思いやる「こころ」を、日本古来の良い伝統とともに親から子へ、伝えて行きたいものだと思います。(智)